

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果
作成日

平成22年 3月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2771900913		
法人名	社会福祉法人 慶生会		
事業所名	北条グループホーム		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府大東市北条七丁目4番1号		
自己評価作成日	平成22年2月1日	評価結果市町村受理日	

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	(基本情報リンク先URLを記入)
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 カロア
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル カロア大阪事務局
訪問調査日	平成22年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・利用者、職員がいつも元気で明るく笑顔の絶えないフロアです。 ・尊敬の気持ちを常に持ち、安心な生活が提供できるよう、さり気ない気配り、愛情を込めて生活しています。 ・利用者の様々な表情(喜怒哀楽)もその人らしさだと感じ、そのままの姿を受け入れて共に生活しています。 ・近隣との交流を深めるため、地域の行事にはできるだけ参加しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>・入居者の方の事を一番に考え、役職や経験に拘らず、職員ひとり一人の意見を運営に反映されています。 また、ご家族ともきめ細やかに対応され、出来る限り希望や要望に沿った対応をされています。 職員同士や入居者、ご家族や関係機関とのコミュニケーションが盛んで、入居者一人ひとりの特徴や性格、 楽しみ事を上手く引き出していると感じました。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年事業計画作成。事業方針の中で、地域密着型サービスとしての理念を入れている。 ・品質方針をスタッフ控室に掲示している。 ・フロー毎の理念もあげケアの品質向上に取り組んでいる。 	「和敬・愛語・感謝」を精神的支柱として人と和を重んじ、人間のよき関係を求めて、社会福祉事業の邁進し役割を果たす。地域においては、他施設や保健・医療機関など関連施設との連携を強化し、その中心的な役割を担い、地域福祉の向上に努める事を運営方針とし、地域との良好な関係を築ける様尽力されました。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスーパーに買い物に行ったり、地域の行事、地域の方との食事会などに参加。 ・クリスマス会には地域の民生委員の方に参加していただいている。 	自治会の盆踊りや敬老会への参加や、同一法人の行事へのお誘いなど、地域の方と関わりを持ち、地域に溶け込み、入居者が暮らせるよう支援されていました。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する映画を地域の方に観ていただく ・地域の秋祭りには、地域の方の休憩場所として敷地内駐輪場を提供している。 		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議において、利用者、家族の意見・要望を聞いたり、利用者の日常生活の様子をビデオで観ていただく機会を設けています。 	ご家族、地域包括支援センター職員、民生委員の方などが参加して意見交換がなされていました。また、テーブルの配置を変えてみたりと、意見を引き出そうと工夫しながら取り組んでいました。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正に伴い不明な点等、気軽に市の相談している。 	常日頃から、行政の担当者への問い合わせや、ホーム内の出来事などの報告などされ、積極的に関わりをもたれていました。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束廃止にかかるマニュアルを作成周知 ・内部研修にて職員への周知を行っている。 ・日常のサービス提供時、身体の動きの制限だけでなく、言葉のブロックも身体拘束になり得ることを周知 	身体拘束をしないケアについて研修や言葉による行動の制限にも話し合いがされました。玄関については、治安の問題や、建物前の道路の車の交通量が多く、安全面からスリーキー（暗証番号）での開閉となっていました。しかし、ご家族や、番号を理解している方は自由に出入りができました。	
7		虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあれば随時、連絡事項にて周知し速やかに対応している。 		

8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>・事業所内での伝達研修実施している。 ・正面玄関に、いつでも誰でも閲覧しやすいようにパンフレット等設置している。</p>			
9	<p>契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約をする前に必ず見学をしていただき、生活の様子、雰囲気、サービスの実際を確認していただいている。</p>			
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・日常生活の中で利用者の言葉や態度から気持ちを理解するように努力し、又言葉に表せれない方は色々試し表情を見て見極め職員間周知し本人の意向に沿った援助を行っている。 ・家族にもこまめに報告、相談行っている。</p>	<p>ご家族と連絡を頻繁にとり、ご家族の聞きたい情報を読み取り、報告をおこなっていました。また、アンケートを実施し、運営に反映していました。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>・フロア入り口に苦情・相談・要望を受け付けるご意見箱を設置。又、面会時、電話連絡にて日頃の様子を職員から伝えコミュニケーションを図っている。 ・家族満足度調査も実施している。</p>	<p>職員同士、コミュニケーションが円滑に行われている雰囲気を感じました。入居者の事を一番に考えるという考えで取組まれ、役職を越えた自由な意見交換がなされていました。</p>	
12		<p>就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>・各自の希望する休みは取り入れ、有給休暇もとりやすいように勤務調整行っている。 ・フリーの職員を定期的に配置し、手厚い勤務体制を確保している。</p>		
13		<p>職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・事業所内毎月の研修、外部研修にも参加できるように配慮している。研修に参加していない職員への伝達研修も行い周知している。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組み</p>	<p>・近隣グループホームと定期的に意見交換行ったり、見学実施し、良い取り組みを学んでいる。</p>		

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの情報の聞き取り、生活習慣、困っていること、興味のある事の情報収集を行い、本人の思いを尊重しスタッフ全員共有できるようにしている(センター方式より抜粋している) 		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅に訪問して家族からの情報の聞き取り、生活習慣、家族の困っていること、ほかのサービス、利用時の様子、本人の思い、家族の思いを聞き取り信頼関係に繋げている。入所まで定期的な連絡、ホームへの見学にも来ていただいている。 		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の思い、家族の思いを優先し、他職種との連携を図り必要なサービスが利用できるようにしている。 		
18	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において家事、レクリエーションを中心に利用者の得意なこと、生活の知恵等を職員が教わっている。調理方法・洗濯干し、洗濯たたみ、掃除の仕方、布ぞうり、縫い物、編み物等。 ・人生の大先輩と尊敬し、職員の悩みを相談。 		
19	<p>本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン作成時にも家族の要望を聞き、サービス実践に繋げている。 ・随時、職員より報告し、その都度、家族の要望は聞き、家族様も協力的に行っていただいている。 		
20	<p>馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れたなじみの場所に行きなじみの知人に会って話をしたり、行きつけの美容室、昔から行っている教会、習字教室へ通っている。 	<p>自宅に一時帰宅し、近所の方と過ごしたり、昔通った店などへ行くなど、馴染みの人や場所との関係を継続して、入居者の方の生きがいにつなげておられました。</p>	
21	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う方々と楽しく過ごす時間を過ごし、より良い関係づくりに努めている。 ・出来ない方へのお手伝いをしていただいたり等、利用者様同士が支えあっている関係づくりに職員が配慮している。 		
22	<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・契約終了しても、利用者の見舞いに行ったり、訃報を聞けば葬儀に参列している。 ・退居者の家族より近況についての連絡もある。 		

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、又は家族の思いを尊重し、行事等を計画し実施している。 ・言葉に出せない方等、色々とアプローチし本人の良い事を進めたり、家族よりの情報を得ている。 	<p>利用前に生活歴などの情報を聞き取る。また、ご家族の面会時に話を聞くなどし、希望や意向の把握に努め、ドライブや居酒屋へ行く等の企画をされていました。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からはセンター方式を活用し情報収集おこなったり、親戚、知人、ケアマネ等からの情報を得ている。 		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の行動から睡眠、排泄、体調の変化等を把握するように情報交換おこない支援している。 ・本人のできる事、やりたい事の把握、家族にも相談し支援している。 		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の希望を取り入れて反映している。 ・本人の生活歴、こだわり、望む生活を取り入れ、介護計画書を作成している。 	<p>生活歴や趣味や希望などを、その方の生活の様子やご家族からの話から、介護計画を作成し、職員も共通の理解の中で取り組んでいました。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の状態変化は生活記録、職員連絡事項にて職員間での情報を共有している。 ・日々の生活記録に個々の気づき、発見を記入し情報共有行っている。 		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイの受け入れを実施している。 		
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の消防署と避難訓練を実施して色々と教わったり、地域の学生(小、中、高校生)との福祉体験を実施している。 		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医による定期的に往診あり、24時間連絡可能な体制にある。 ・内科1回/週、歯科2回/月、眼科1回/月、往診あり、連携を図っている。 	<p>ご本人、ご家族が希望する医療機関への受診も可能で、ご家族と連携をもちながら対応されていました。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体状態の変化や急変時には、かかりつけ医に連絡を取り支持を仰いでいる。 		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、病院側との連絡を密にし対応行っている。 ・入居時の様子、入院時の様子、退院後の対応方法等の情報共有行っている。 		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に指針の説明を行い理解を得ると共に、利用者の状況をこまめに家族へ連絡。 	<p>ご本人やご家族の意向を聞き、出来る範囲での対応をされていました。また、ホーム内で対応出来ない場合も、必要な医療・介護機関への相談や手配など、細やかな対応をしていました。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応について、看護師より定期的に研修会を実施し、体験しながら習得している。 ・マニュアルを作成し緊急時の対応を周知徹底している。 		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練を年に2回行なっている。 ・災害に備え、水・米等を各ユニットで備蓄しています。 ・1階厨房食品庫に併設事業所の食料品を保管しており、災害時に活用できるようにしている。 	<p>防災訓練を年2回実施し、研修も行われ、職員の防災意識も高く尽力されていました。</p>	

. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・日々の介護場面でも、個人に対する尊厳の気持ちで接する対応を心がけている。研修会でも自尊心を傷つけないよう職員間で情報を交換し職員意識向上に努めている。	職員間で、一人ひとりの特徴を把握、共有し、尊厳ある対応に努めておられました。訪問中、入居者の方と職員との間の会話から、それぞれの入居者に合わせ接しておられました。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・日常会話の中で個人に声掛けをし、一つ一つの作業・行動において必ず声掛けし本人の理解を得たり、これで良いのか確認しながら意思表示していただくように支援している。	
38	15	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・利用者一人ひとりに合わせたペースで急がず事なく支援しています。本人の気持ちを優先している。その日の利用者の健康状態や天候に合わせて臨機応変に取り組んでいる。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・洋服は本人の好みや選択していただき、外出時は鏡を見ながら本人に確認をとり、お化粧を支援している。 ・昔から行きつけの美容室に家族とともにしている。	
40	16	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・誕生日には利用者の好きな料理を献立に取り入れている。昼食のみホームにて職員と利用者さんとで調理を行っている。 ・朝食時等はお粥、パンで選択して頂き提供している。おせち料理はホームで手作り提供。	朝・昼に入居者の方と食事を作られています。栄養のバランスを考え、栄養士の献立がありますが、入居者の方の意見を聞きながら、献立の変更も可能で、決められた物を提供するのではなく、希望や要望に沿って食事をしていました。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	・栄養バランスについては施設内の栄養士作成のメニューで調理し提供している(昼・夕のみ) ・嚥下困難な方、食の進みの悪い方等にはお粥、きざみ食で提供している。 ・水分摂取量も記録用紙の項目に記入しチェックし、水分の進みの良い時間帯も把握し水分補給に努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・かかりつけの歯科により、口腔内を検査ケアしている。 ・毎食後、残渣物が多く残る方にはその人にあった歯ブラシを使用したり、できない方には介助を行ったり、口腔内ガーゼにて清拭おこなっている。	

43	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・尿意や便意がある方には無理に排泄の声掛けせず、利用者の排泄リズムに合わせてトイレに行っている。またおむつの方も日中は体調に合わせてできるだけトイレにて排泄し、夜間はおむつ対応している。 	<p>極力、便座に座る方向で対応しておられました。また、排泄リズムやケアの方法について検討し、支援の方法を考えておられました。</p>		
44	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水分を多めに摂ってもらったり、繊維物・乳製品を多く摂取してもらうなど生活リハビリ、体操、散歩などで運動していただき、できるだけ自然排便できるように支援している。 ・下剤服用はそれぞれの状態に合わせた使用量頻度で調節し薬にはあまり頼らない様になっている。 ・排便状況の把握に努めている 			
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>基本的に3日に1回入浴していただいている。希望者には2日に一回入浴を提供している。</p> <p>バスクリンを入れて香りや色を楽しんでもらう。</p> <p>本人の希望日、時間の要望があればそれにあわせて本人のペースを大切にしている。</p>	<p>ご本人のペースに配慮しながら対応されていきました。時には、職員の勤務時間を変更しするなど、夜間入浴等も取組まれた経験がありました。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりの体調、表情、日中の動き等を、本人の希望を考慮している。 ・室温調節、証明の調節、入眠時間、起床時間、排泄時間等把握し巡回時、こまめに確認している。 		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの服薬ファイルを作成し、職員が把握しやすいようにしている。 ・服薬時は、日付・名前を声に出して読み、間違いのない様に口腔内を確認し服薬確認もきちり行っている(服薬4原則徹底)、薬管理は看護師が行い、薬箱へ入れる際は介護職員2名で確認。 ・服薬チェック表作成し服用した職員は必ずチェックする行うようにしている。 		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、調理盛り付け、洗濯干し洗濯たたみ、居室掃除、廊下の掃除、本人の気持ちを優先に取り組んでいただいている。 ・外出を希望する方には買い物やドライブ、散歩を実施。 		

49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣散歩は天気の良い時はできるだけ出かけている。ベランダ等にて気分転換おこなうこともある。 ・ドライブ、スーパーやデパートに買い物など利用者の要望に沿った対応を行っている。 ・家族様にも協力しドライブにも行っていただいている。 	<p>ドライブや飲食店での食事なども計画しておられました。また、「あなたが主役」と題して、ボーリングやパチンコ、職員研修の講師など、1日その方の望む事、やりたい事を叶える企画をたてておられ</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小銭(一万円以上)のお金を持っている方もおられ、各自にて保管している。 ・買い物など、本人の好きなもの(おやつ)を購入してもらい、お金の支払いも行える方は行ってもらう。 		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電話は設置していないが、希望があれば通話の支援を行っている。 ・手紙も希望があればやり取りできるように職員付きそって一緒に書くことを行っている。 		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂やリビングも採光よく、ソファを設置し、くつろいで過ごせるように努めている。 ・フロアには四季を通して楽しめる雰囲気を利用して職員と一緒に取り組んでいる。 	<p>カレンダーや飾り物などの配置を入居者の方と相談しながら空間づくりをされていました。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングにソファを置き、気の合うもの同士でお茶を飲みながらくつろげる空間を提供している。 		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で使っていたなじみの家具、食器、テレビ、ミシン、家族の写真等を持ち込み本人が居心地良く過ごせる工夫をしている。 	<p>馴染みのタンスやミシンや家族の写真など、その方が居心地良く過ごせる様取組まれています。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下・トイレ・浴室の手すりを設置し、自立への配慮をしている。 ・居室にプレート(写真付き)、トイレには標識、浴室には暖簾を掛け一人ひとりが混乱なく場所が分かるように工夫している。 		

アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者の 利用者の3分の2くらいの 利用者の3分の1くらいの ほとんど掴んでいない</p>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回ある たまにある ほとんどない</p>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての利用者と 利用者の3分の2くらいと 利用者の3分の1くらいと ほとんどできていない</p>
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどいない</p>

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くない
66	職員は生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が 職員の3分の2くらいが 職員の3分の1くらいが ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族が 家族の3分の2くらいが 家族の3分の1くらいが ほとんどできていない